

<東北税理士会会長賞>

幸せを運ぶお金

白河市立白河中央中学校 三年 有馬 美桜

私の父は教員、つまり公務員だ。小さい頃親の職業について調べたときに、その給料となるお金はどこから発生しているのか疑問に思い父に質問したところ、公務員の給料は税金から支払われていることを教わった。つまり、私たち家族が満足にご飯を食べることができるのも、好きな本や洋服を買うことができるのも、税金のおかげなのだ。私たち家族の生活は、税金で支えられている。そう思うと、なんだか税金はともありがたいものだと、小さい頃から考えるようになった。

一方で、「公務員は税金でご飯を食べているんだから、もっと働け！」「税金泥棒だ！」という批判的な声を聞くこともある。税金を払うことを「納税の義務」という名のもと、強制的にお金を支払わされているかのように批判的にとらえている人がいるのも事実だ。しかし、公務員だけが税金を独占しているわけではない。そういった批判を抱いている人も、税金に支えられ助けられて生活しているはずだ。

まず、私たちは産まれる赤ちゃんのうちから無料でたくさんの予防接種を受けることができる。健康を守るために。現在どんどん進められているコロナウイルスのワクチン接種も、無料で接種できるのだから税金が使われているはずだ。健康を守るという側面を考えただけでも、多くの税金が使われていることが理解できる。

また私たちは、成長すれば義務教育を無料で受けることができる。私達の教科書代は税金のおかげで自己負担せずに済んでいる。私たちは税金によってまかなわれた教科書を使って学習し、多くの知識を得ることで、この先の人生をより豊かなものにすることができるのである。

そして成人し、労働者となり税金を払うという義務を果たし高齢者となれば、今度は年金が自分の生活を支えてくれるようになる。これまで挙げてきたものは、ほんの一例にすぎないが、私たちは産まれてからその生涯を終えるまで、常に税金に支えら

れ助けられていると言えるのだ。

自分の住む地域の整った道路。水を毎日使えることができるように整備された上下水道。私たちが安心して安全に生活できるよう治安を守ってくれる警察制度。まだまだ税金は様々な場所、場面で活躍している。やはり税金は、誰にとっても欠かせない存在なのだ。

私たちは一生の中で、どれほどの税金に支えられ、助けられているのだろうか。普段は無意識で気づかずにいるけれど。そんな視線に立ってみたら、税金はすべての国民が幸せに暮らす権利を守るために必要な大切なお金だと改めて気づかされた。そしてそれは、一円も無駄にできない価値のある有意義なお金だ。国民の幸せと日本の豊かな未来のために国民の一員として納税する義務を、私はこれからも果たしていきたい。